

大分大学医学部附属病院 循環器内科 専門修練プログラム

1. プログラムの概略・特徴

優れた臨床循環器専門医師養成を目指し、3年目以降の後期研修において基本的な循環器科知識・技術を修得する。その後の連携施設（病院）における実地臨床研修、大学院における医学研究を通して臨床循環器内科の知識・技術をレベルアップしていくことを目標とする。

2. 研修目標

【一般目標】

- ・患者の立場に立って医療を行い、研究的視野を持った優れた臨床循環器内科専門医師を養成する。
- ・循環器内科専門医として独立して診療出来る臨床能力を確立するため、多岐にわたる実践的臨床知識・技術・判断力を身につける。また、最新の知識を得て臨床に生かす技術を習得する。
- ・臨床医学に立脚した循環器内科分野の研究テーマを自己決定し、医学研究に積極的に取り組む。
- ・内科認定医，総合内科専門医，循環器専門医資格を取得する。
- ・大学院進学後に医学博士の学位を取得する。

【行動目標】

：主要循環器疾患の病態・診断・治療について実際の患者を担当し経験学習する。

[必修疾患]

労作性狭心症，冠攣縮性狭心症，不安定狭心症，急性心筋梗塞，陳旧性心筋梗塞，虚血性心筋症，大動脈弁弁膜症，僧帽弁弁膜症，虚血性心筋症，重症心不全，心原性ショック，拡張型心筋症，肥大型心筋症，両心室ペースング適応となる症例，心タンポナーデ，拡張障害，PSVT，WPW 症候群，AFL，心房細動，徐脈性不整脈の症例，失神，VT，Brugada 症候群，Vf，本態性高血圧症，二次性高血圧症，高血圧性心臓病，低血圧症，動脈硬化症，ASO，大動脈瘤，大動脈解離，肺塞栓症，肺高血圧症，慢性肺性心，ASD，VSD，心筋炎，心外膜炎，血管炎，大動脈炎症候群，感染性心内膜炎，甲状腺機能亢進・低下症，糖尿病，腎不全，膠原病，代謝性疾患，アミロイドーシス，脂質代謝異常

：診断・検査手技を実践的に学習，修得する。

[必修診断・検査手技]

(1)身体所見診察（バイタルサイン），聴診（心音，心雑音），血管雑音聴取(2)胸部 X 線診断，胸部 CT，冠動脈 CT，胸部 MRI(3)頭部 MRI，MRA，血管 CT angio，MRA(4)心電図(12 誘導，モニター，Holter，加算平均，ベクトル，運動負荷心電図)(5)電気生理学的検査，心音，心機図（心尖拍動図，頸動脈拍動図）(6)心エコー，血管エコー（頸動脈，下肢），経食道心エコー(7)右心カテ(Swan-Ganz カテーテル，心拍出量測定)，左心カテ，冠動脈造影(8)冠攣縮誘発試験，心筋生検，IVUS，観血的動静脈圧モニター(9)心臓核医学検査，高血圧精密検査(10)血液生化学的検査結果の判定・解釈，血ガス判定

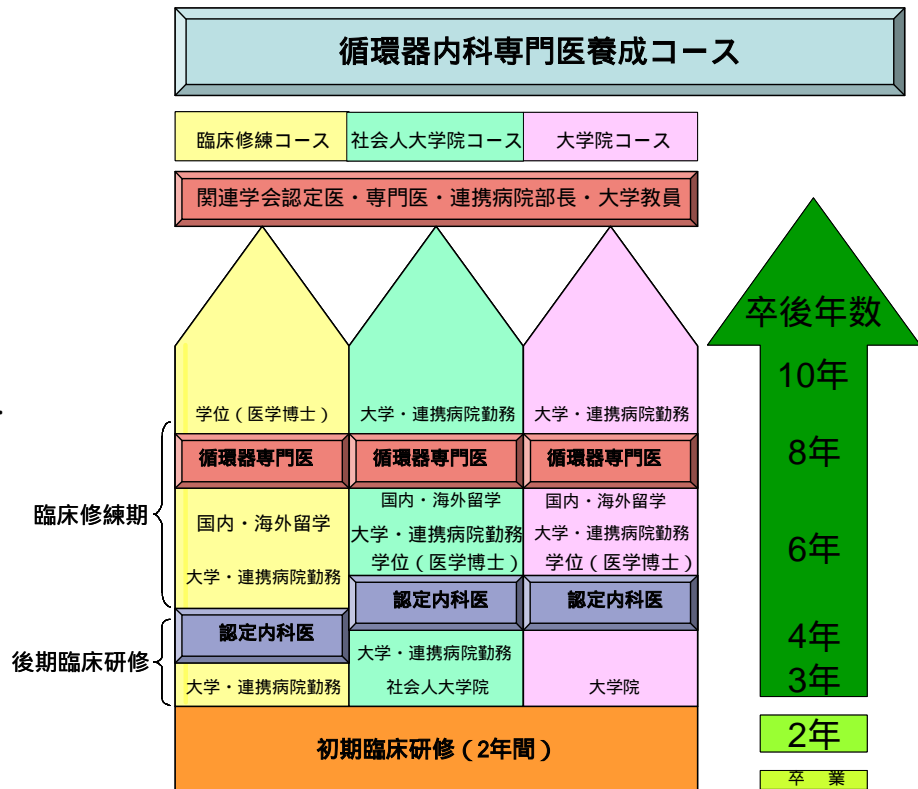
：治療法として以下の項目について実践的に学習，修得する。

[必修治療法](1)最新の EBM を理解し，実践する。循環作動薬の特性と種類を理解して使用する。

(2)内服循環作動薬について，血管内投与循環作動薬について(3)救急処置（心肺蘇生，BLS，ACLS），除細動器の適切使用(4)感染性心内膜炎に対する抗生剤治療(5)心臓リハビリテーション，酸素療法：HOT を含む，食事・生活指導(6)体外式心臓一時ペースング，心嚢穿刺，ドレナージ(7)IABP，恒久式ペースメーカー植え込み，PCI，PTA(8)IVC filter 挿入・留置，IVC filter 管理，ECUM，CHDF，PCPS(9)両心室ペースング，植え込み型除細動器，血栓溶解療法(10)カテーテルアブレーション

3. 研修スケジュール

後期臨床研修（卒後3～4年次）更に、その後の臨床修練期（卒後5～10年次）に大別される。後期臨床研修では、大学附属病院または連携病院においてマンツーマン方式により専門性の高いトレーニングを受ける。循環器治療薬の使用、非観血的検査・観血的検査（心臓カテーテル検査・心臓電気生理学的検査）ならびに非薬物療法（PCI・カテーテルアブレーション・ICD）の術者あるいは助手、救急処置（直流除細動・体外式ペースティング・心膜穿刺・IABP）の術者あるいは助手、などがその内容である。この時期には（社会人）大学院進学を選択も可能である。臨床修練期では日本内科学会認定内科医（総合内科専門医）ならびに日本循環器学会専門医（大学院では医学博士）の取得を指導する。



4. 評価

3年次後期研修が終了した時点で目標を達成するように研修を行い指導医が評価する。

5. 募集人員 5人

6. 実施責任者：総括責任者：犀川 哲典（臨床検査・診断学講座教授，循環器内科診療科長）

プログラム担当責任者：原 政英（総合内科学第一講座准教授）連絡先：m-hara@med.oita-u.ac.jp，

研修担当責任者：高橋 尚彦（総合内科学第一講座講師）

7. 指導責任者：大家辰彦（大分医療センター），岩尾 哲（大分赤十字病院），秋満忠郁（大分循環器病院），高倉 健（健康保険南海病院），重松作治（別府医療センター）

8. 関連施設，学会認定状況：大分大学附属病院循環器内科（日本循環器学会研修施設，日本内科学会認定教育施設），大分大学附属病院臨床検査医学（日本循環器学会研修施設，日本内科学会認定教育施設），大分医療センター循環器科（日本循環器学会研修施設，日本内科学会教育関連病院），大分赤十字病院循環器科（日本循環器学会研修施設，日本内科学会教育関連病院），大分循環器病院循環器科（日本循環器学会研修施設），健康保険南海病院循環器科（日本循環器学会研修施設），別府医療センター循環器科（日本内科学会教育関連病院）

9. その他 記載なし

10. 連絡先

大分大学総合内科第一准教授 原 政英 TEL 097-586-5791 (5793)